(2) 美容文化コース(美容師養成施設)

教科科目	科目の特徴	科目の目標
衛生管理 I	公衆衛生領域での正しい知識と情報を学ぶ必要がある。この講義では、衛生環境について、公衆衛生と環境衛生、感染症、衛生管理技術について系統的に講義する。	公衆衛生技術の正しい知識を身につける。
美容保健 I	人体各部の名称並びに頭部、顔部及び頸部の解剖学的特徴(骨格、筋、神経含む)を講義する。	人体組織の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。
香粧品化学 I	香粧品に用いられる水性・油性原料、界面活性剤、その他原料について学ぶ。	美容技術の基礎となる香粧品に関する科学的、体系的な知識の習得を目的とする。
美容技術理論 I	美容技術には常にその技術を施す裏付けがあり、その意義を理解しておかなければ更に高度な技術には対応できない。日々移り変わる美容技術についても対応できるよう、将来、美容を生業とする者が知っておかなければならない用具や技術に関する知識や理論を学ぶ。	理論を理解することで技術を深く学ぶことができる。その為に基礎的な理論を学び、美容技術にも生かす。
美容文化実習 1	頭髪美粧の基礎的知識と技術を修得していく。ワインディングを通して、基礎的となる技術の理論を理解し、実践できるようにトレーニングしていく。	美容師として必要な基礎技術のトレーニングとして、ワインディング技術の習得。
美容文化実習 3	まつ毛エクステンションは現在において急速に需要が高まっているものの「ファッション」として捉えられているのが現状であり、よって技術だけが先走り、理論が十分に理解されないまま施術が行われていることが問題となっているため、どのようなトラブルにも対応できる事故のない安全な施術を行える技術を学び、シャンプー実習は基本の技術を学ぶ。	まつ毛エクステンションの基礎技術と理論及び衛生の知識の習得。 シャンプー実習の基礎技術の習得。
和装着付け	和装着付けの歴史、種類等の基礎知識からトータルに和装着付け技術を学ぶ。色々な帯の結び方から着物の模様、半襟や帯の種類、帯締、帯上げ等の色彩の調和を考えた基本的なバランス調和で美しく仕上げる技術と知識を習得する	和装着付け技術と知識の全般的な理解と基礎技術の修得を目指す。
社会福祉概論	社会保障制度の4本柱(社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生)を学び、今日の社会福祉を取り巻く高齢化社会と少子化の現状と課題など社会福祉とは何かという問題について理解を深めていく。	社会福祉とは何かを理解し、社会保障における弱者について視点をもつ。
情報処理演習 I	コンピューターを常識として活用する能力「コンピューター・リテラシー」を養うことを目的とする。パーソナル・コンピューター及び情報機器・媒体についての知識を学び、その操作・活用ができるようになる。	文章デザイン試験2・3級合格を目指す。